

評価項目	取り組み状況
教育・保育方針と内容	「子どもが安心して過ごし、あそびを楽しめる環境づくり」を今年も研究テーマとし、子どもの現状を把握しながら、安心してあそびや生活に参加できるように環境を整えていった。またいろいろなあそび方があることを知り、あそびの幅が広がり、あそびを豊かにして主体的に活動することに繋げていった。研究していることを活かしながら、子ども達が意欲的に、生き生きと遊べるように各クラスで工夫しながら取り組みを考えていった。
健康支援	<ul style="list-style-type: none">・園児の健康状態を把握し、感染症拡大を予防し、速やかに受診してもらうことや保護者と連携を取りながら健康管理の対応をしていった。・手洗い指導や、年齢に応じてプライベートゾーンの話などを看護師中心に実施し、園児一人ひとりが自分のからだの事や健康について意識できるようにしていった。
安全指導・危機管理	<ul style="list-style-type: none">・全職員が日常から危険箇所や点検を怠らず安全対策に努め、危険が予測される所は、速やかに改善していくように心がけ、事故防止に繋げていった。・総合避難訓練では、南消防署より消防士に来ていただき、話をさせていただいた。また消防自動車に触れるなどして興味を持ち、子ども達の防災への意識に繋げていった。・3階の島田センターに避難する訓練を行い、同センターとの合同避難訓練をすることで、実際に子ども達が避難訓練を行っていることを地域の方に知ってもらえた。
食育の推進	<ul style="list-style-type: none">・菜園活動を通して、育てた野菜などに興味を持ち、収穫する喜びや実際に食べていく活動を通して、食への興味や意欲に繋げた。・行事などにちなんで、豆の話の手作り紙芝居で技能職員から子ども達に話をし、関心を持ってもらえるようにしていった。
子育て支援（在園児および地域）	<ul style="list-style-type: none">・日常的に保護者や子どもの様子を伝えていく事を心掛け、直面している悩みや子育てに対する不安などを傾聴し、寄り添いながら子育てを考えていけるように努めた。・地域支援事業も利用人数が増加し、子育ての共有の場として地域の親子の交流にもつながっている。在園児とのクラス交流も行い、子ども達が遊びを楽しんでいる姿をみてもらい、楽しい子育てに繋げていった。
インクルーシブ教育保育	<ul style="list-style-type: none">・個々の育ちに応じたねらいや手立ての方法を保護者とともに共有し、集団の中での育ちを確認していった。・こどもの困り感を感じ取っていき、適切な保育教育とは何かを職員間で情報共有しながら取り組みを行っていった。

<p>職員の資質の向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アドバイザー研修で今年度は音・音楽をテーマに研修を受け、音楽での表現を楽しむことで、コミュニケーションを深めることにつながることや子ども発信の表現に合わせて遊んでいく事で遊びが広がっていく事などを学び、職員の質の向上につなげていった。 また、ガイドラインなども活用しながら、保育を振り返り、適切な保育や自己評価に繋がるようにしていった。
<p>幼保こ小中の連携・接続</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・就学先の各小学校と連携を図り、子どもの様子を見に来てもらい丁寧に引継ぎを行っていった。 ・小学校見学をさせてもらうことで、年長児は小学校への期待感を膨らませることができた。 ・庄内さくら学園の中学生がたくさん園に体験学習にきて、一緒に遊ぶことで、中学生に甘えたり関わったりすることができ、お互いにとって楽しい体験となった。
<p>評議員会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は、行事の予行練習の姿を観てもらった。当日とは違う普通の過ごしている様子も感じてもらいながら、保育教育活動を観てもらえたことはよかった。子ども達が主体的に意欲をもって生き生きと遊んでいる姿に、子ども達のパワーを実感してもらえ、日頃から楽しくこども園で過ごしていることが十分に感じられたと評価をいただいた。
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者に対し日常から声掛けをしていき、子どもへの関わり方や保護者の表情もみながら、子育てのしんどさや不安に寄り添えるように職員間で連携し、臨機応変に適切な対応ができるように努めていった。

○今後取り組むべき課題（重点的に取り組むべき課題）

<p>課 題</p>	<p>具体的な取り組み方法</p>
<p>教育・保育の質の向上</p>	<p>職員が主体的に学びあっていけるように、職員間で学びたい視点を出し合い、情報共有しながら、遊びや支援を具体的に考え、実践していく事で、こども成長を見極め、教育保育の質の向上に繋げていく。</p>
<p>保育の取り組みや子どもの姿・成長を保護者にわかりやすく伝えていく</p>	<p>保育教育のねらいやこどもの姿・こんな力に繋がるなどわかりやすく伝えていけるように、壁新聞やドキュメンテーションを活用し、写真なども取り入れながら、具体的に伝わるように、配信アプリ等で発信する機会も増やしていく。</p>

令和7年（2025年）3月31日

豊中市立 島田こども園

園長名 武市 百代